

新富町
第10期高齢者保健福祉計画
第9期介護保険事業計画

【令和6年度～令和8年度】



令和6年3月

宮崎県 新富町

はじめに

本町の高齢者を取り巻く環境は、平均寿命の延伸や少子化により、介護保険制度が創設された平成12（2000）年から大きく変化し、今では2世帯に1世帯が高齢者を含む世帯という状況で、高齢化率は32.1%（令和5年10月1日現在）となり、令和22（2040）年には37.3%まで上昇すると推計されています。また、制度開始時と比較すると、65歳以上の被保険者数は約1.6倍、保険給付費においては約2倍に伸び、今では高齢者のみならず介護者の生活を支える重要な役割を担う制度になったと言えます。

一方で、制度の支え手となる現役世代の減少に加え、介護人材不足という課題を抱える中、「団塊の世代」が75歳以上になる令和7（2025）年、さらに「団塊ジュニア世代」が65歳以上になる令和22（2040）年を控え、より一層、中長期的な視点を持った施策展開が求められています。

このような状況を踏まえ、本町では、増加、多様化する介護需要に対応するため、元気な高齢者を増やし、幅広い世代が地域の支え手として活躍できる仕組みづくりに取り組んでいるところです。

本計画では「誰ひとり取り残されないまち」を基本理念とし、その実現のために8つの基本目標を掲げております。ここに位置付けた様々な施策に真摯に取り組み、高齢になっても住み慣れた地域で生きがいを持ちながら、安心して暮らし続けられるまちづくりを目指してまいります。

最後になりましたが、本計画策定に当たり、熱心にご審議いただきました新富町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員の皆様をはじめ、アンケート調査等にご協力いただきました皆様、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和6年3月

新富町長 小嶋 崇嗣